



## 病院データ

<b>医師数</b> (常勤/令和6年4月1日現在) <b>40人</b>	<b>病床数</b> (一般132床・地域連携97床等3床・ICU18床) <b>199床</b>	<b>外来患者数</b> (令和5年度/1日平均) <b>405人</b>	<b>入院患者数</b> (令和5年度/1日平均) <b>163人</b>
<b>救急車搬送患者数</b> <small>(令和5年度/1日平均)</small> <b>5人</b>	<b>救急外来患者数</b> <small>(令和5年度/1日平均)</small> <b>12.3人</b>	<b>手術件数</b> <small>(令和5年度/1日平均)</small> <b>2.9人</b>	<b>心肺停止状態搬送患者数</b> <small>(令和5年度/1日平均)</small> <b>0.02人</b>

## 病院概要

### 地域のニーズに応える医療機関

当院の前身である「松本診療所」は、地域住民の発意により、1974年に設立。以来、地域に密着しながら医療活動を展開し、1981年に松本協立病院として、医療機能をより拡充させた形で再始動した。

当初は、内科、小児科、理学療法科、神経内科の4科でスタートし、その後、地域の人々のニーズと医療状況を見据えて、段階的に診療科目を増やしながら、施設の増改築や医療設備の充実を図り、患者の受け入れ体制を整備してきた。

現在は、松本市近郊の1次・2次医療から、3次医療の一部を担い、地域の医療・福祉のネットワークが有効に機能することに注力している。

今後も、近隣の医療機関との連携をさらに緊密にしていくとともに、当院に在籍する医師の専門性を高め、よりいっそう地域からの信頼を得られるよう努力していく。

2018年5月、リニューアルオープンを果たした。

院長名 佐野 達夫



## 診療項目

内科	小児科	皮膚科	精神科
外科	整形外科	産婦人科	眼科
耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科
形成外科	リハビリテーション	総合診療科	

協力型病院	長野中央病院、健和会病院、松本市立病院、城西病院、信州大学医学部附属病院
協力施設	諏訪共立病院、一之瀬脳神経外科病院、塩尻協立病院、上伊那生協病院飯田中央診療所

## 先輩研修医のメッセージ



初期研修医  
(1年次)  
**塚本 哲也**  
信州大学 卒

### 総合力とやりたいことが両立できる恵まれた環境

一番のおすすめポイントは導入期研修(総合診療科)です。疾患に関しては悪性腫瘍から感染症など幅広く、主治医として診ることができます。それに加えて、指導体制は手厚くオーダー1つの出し方、基本的な手技からそれぞれの段階を追って教えていただけます。

研修の内容の自由度が高いことも魅力的です。各科を回る前に指導医の先生との面談もあり、どういった研修にしたいか、何に重きを置きたいかなどを共有できます。そして内視鏡、手術、救急、場合によっては担当患者さんにも希望すればローテにかかわらず、かかわり続けられることができます。

199床と規模が大きくない分、風通しが良く、どの先生にもいつでも相談できる充実した研修です。

## 研修概要 (令和6年4月1日現在)

<b>募集人数</b> <b>3人</b>	<b>初期研修医数 (1年次)</b> <b>3人</b>	<b>初期研修医数 (2年次)</b> <b>2人</b>	<b>指導医数</b> <b>11人</b>
--------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------

- **主な出身大学** 杏林大学、東邦大学、信州大学、金沢大学、横浜市立大学
- **主な進路** 当院スタッフ、信州大学、佐久総合病院、北アルプス医療センターあづみ病院、豊橋ハートセンター

## 研修プログラムの方針

- ◎ 臨床医に求められる基本的臨床能力取得のため、導入期には総合診療から研修を開始する。
- ◎ 「疾患」から出発するのではなく「訴え」から出発し、診断・治療を進めることを通し、患者を全人的にとらえる医療を習得する。その過程においては、「教える」ではなく「思考過程」を明らかにすることを重視したカンファレンスを開き、「学び」続ける力を育む研修を行う。

## 研修プログラムの目的と特徴

- ◎ すべての医師に求められる基本的な診療に必要な知識、技能、態度を身につけ、入院、外来、救急から在宅、保健予防活動まで幅広く担える基礎能力を養う。
- ◎ 患者に限らず、地域住民やメディカルと協力・共同の医療を行い、安全で質の高い医療を提供できる能力を身につける。
- ◎ プライマリ・ケアから高度専門医療まで一貫した診療にあたり、他の医療機関と連携する中で医師が地域の中で果たす役割を学ぶ。
- ◎ 研修開始(導入期研修)は総合診療
- ◎ 「救急研修後から直当開始。回数は~4回/月ほどで希望制。
- ◎ “学び合う”思考過程を重視したカンファレンス
- ◎ 担当医(主治医)制で、救急から入院、外来、在宅まで一人の患者さんに関する責任を持ち、ともにつくりあげる医療を学ぶ
- ◎ 研修医の個性に合わせたフレキシブルな研修カリキュラム
- ◎ PICC、CVC、胸腔穿刺、動脈穿刺、挿管など基本手技の技術を培う実践型研修。

## ▼ 研修プログラムの一例

1年次 研修項目	A	総合診療科(導入期)	救急	外科	循環器内科	小児	
	4週	16週	4週	12週	8週	4週	
2年次 研修項目	精神	産婦人	小児	選択(内科10週)			地域医療
	4週	4週	4週	32週			4週

A: オリエンテーション、選択: 放射線科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎透析・糖尿病内科、麻酔科

## 専門研修について

松本協立病院内科専門研修プログラム基幹施設、松本諏訪上伊那医療圏総合診療専門研修プログラム基幹施設、長野中央病院内科専門研修プログラム連携施設、長野中央病院総合診療専門研修プログラム連携施設、諏訪中央病院内科研修プログラム連携施設、松本市立病院総合診療専門研修プログラム連携施設、佐久総合病院外科研修プログラム連携施設、信州大学医学部附属病院病理専門研修プログラム連携施設

## 募集要項

応募資格: 2026年春医師国家試験受験予定者  
採用予定人員: 3人  
試験日程: 随時(応募者と個別に相談します)  
選考方法: 面接、小論文  
処遇: 常勤職員  
宿舍: 舎: 家賃補助あり  
当直手当: 24,000/回  
その他: 学会、研究会への参加費・交通費などの支給あり

## 応募連絡先

住所: 〒390-8505 長野県松本市中上9-26  
担当 課: 医局事務  
担当者: 山口 和也  
TEL: 0263-35-5333  
FAX: 0263-35-0694  
E-mail: yamaguchi@chushin-miniren.gr.jp  
URL: http://www.chushin-miniren.gr.jp/  
見学日程: 随時  
申込先/医局事務